

「山形県オレンジリボンキャンペーン」の実施について

11月は児童虐待防止推進月間です。県では、「山形県オレンジリボンキャンペーン」を下記のとおり実施することとしましたので、県民の皆さんにお知らせいただくとともに、取材くださるようお願いいたします。

記

1 目的

県民一人一人が児童虐待や子どもの人権について関心を持ち、社会全体で児童虐待の防止や、子どもの人権擁護の気運を高める。

2 スローガン

「がんばらないで。みんなで守るよ、山形のいのち」
育児は孤独に陥りがちになるが、自分ひとりではなく、どんな時でも手助けしてくれる人がいるという思いを込めたもの。
スローガン作成については、山形ママコミュニティ mama*jam と連携。

3 キャンペーンの内容

(1) モンテディオ山形と連携した啓発活動

11月11日(水)開催のホームゲームにおいて、啓発物品を先着3,000名に配布。そのほか、スタジアム内でモンテディオ山形の選手を起用したCMの放映やハーフタイム時にPR活動を実施。
CMについては、期間中テレビやYouTubeにおいても放映。

(2) 山形ママコミュニティ mama*jam と連携した啓発活動

mama*jam 公式アカウント等を通じ、オレンジリボンを写した写真や身に着けた写真を投稿する「#オレンジリボン山形」運動をSNS上で展開。

(3) オレンジライトアップ

県内4地域の建造物を11月28日(土)から30日(月)の3日間オレンジ色にライトアップし、児童虐待防止に関する県民の関心を高める。

【村山地域】文翔館

【置賜地域】旧米沢高等工業学校本館

【最上地域】金山町街角交流施設「マルコの蔵」

【庄内地域】山居倉庫

4 主催 山形県・山形県人権啓発活動ネットワーク協議会

5 児童虐待防止推進月間について

厚生労働省では児童虐待問題に対する社会的関心の喚起を図るため、平成16年度から11月を「児童虐待防止推進月間」としており、全国各地で集中的な広報・啓発活動が行われている。

《参考》児童相談所虐待対応ダイヤル「189（いちはやく）」について

児童相談所虐待対応ダイヤルとは、虐待かもと思った時などに、すぐに児童相談所に通告・相談ができる全国共通の電話番号です。「児童相談所虐待対応ダイヤル「189」」にかけるとお近くの児童相談所につながります。

通告・相談は、匿名で行うこともでき、通告・相談をした人、その内容に関する秘密は守られます。通話料は無料で、児童虐待かもと思ったら、ためらわずに御電話ください。

<問合せ先>

子育て若者応援部子ども家庭課

課長補佐(児童養護担当) 村岡 秀也 TEL:023-630-2259

[報道監]

子育て若者応援部次長 奥山 賢

「 オレンジリボンキャンペーン 2020 」 篇 TVCM15 秒

CONTENTS

PICTURE

SOUNDS / COMMENTS

アクションフリップCM

CUT.1 約6秒

▼家族と子供が
たのしく過ごしている写真を
紹介します。
(※ママじゃむ提供写真より)



BGM あたたかい雰囲気

Na:女性

子供たちが
安心して
過ごせるように

子供たちをみんなで
守る

CUT.2 約3秒

▼スローガン告知



令和2年度 山形県オレンジリボンキャンペーンスローガン
がんばらないで。みんなで守るよ、山形のいのち



児童虐待防止運動

CUT.3 約3秒

▼相談ダイヤル 告知

虐待かもと思ったら...

いち はやく

児童相談所
全国共通
3桁
ダイヤル

189 ※通話料無料

山形県オレンジリボンキャンペーン展開中

企画 / 山形県・山形県人権啓発活動ネットワーク協議会

山形県
オレンジリボン
キャンペーン

CUT.4 約3秒

▼モンテディオ選手と
ともに
▼オレンジリボンロゴと
キャンペーンを
告知します。

山形県オレンジリボンキャンペーン

大槻周平選手

モンテディオ山形も
賛同しています。

中村駿選手

モンテディオ山形も
賛同しています。